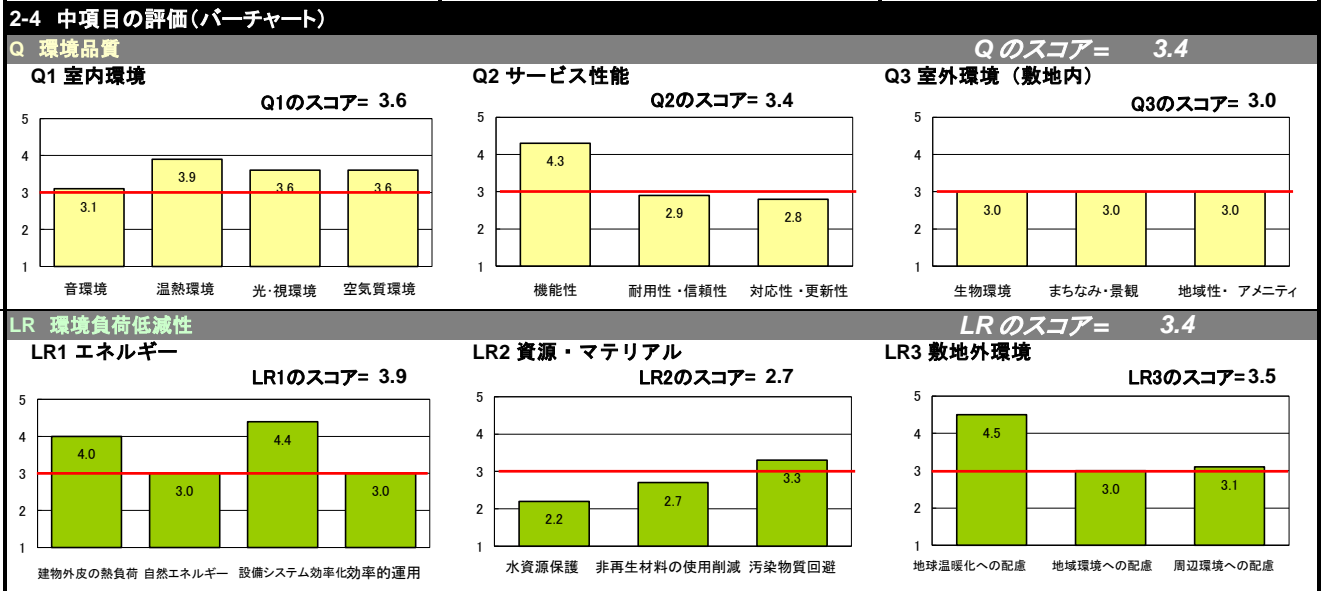
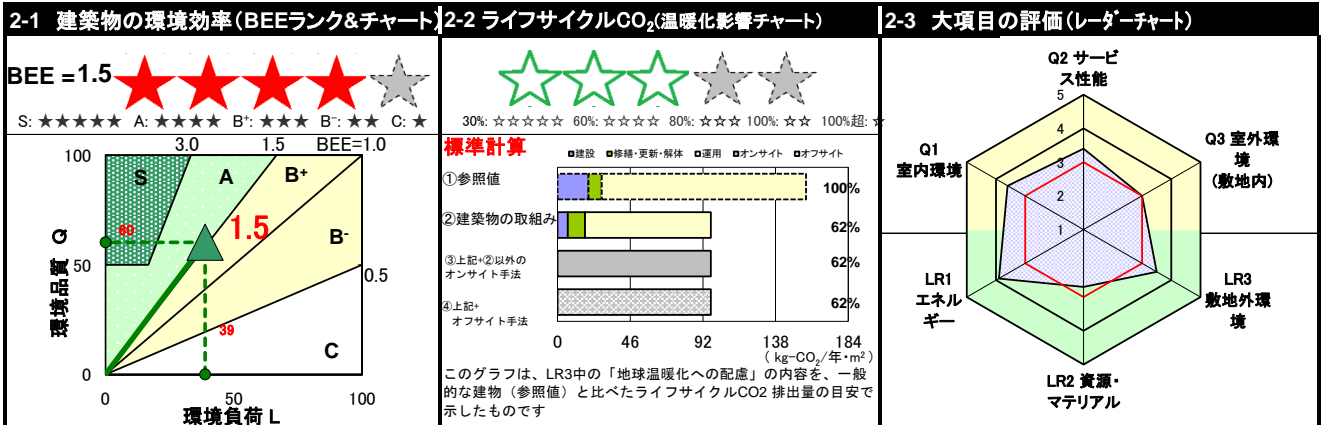


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)メイツ大和 新築工事	階数	地上12F
建設地	大和市深見台一丁目1124番1他	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	686 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年2月 予定	評価の実施日	2017年2月2日
敷地面積	6,995 m ²	作成者	株式会社長谷工コーポレーション
建築面積	1,978 m ²	確認日	2017年2月2日
延床面積	14,523 m ²	確認者	株式会社長谷工コーポレーション

3 設計上の配慮事項		
総合 地域環境や街並みとの調和を図り、省エネルギーや環境負荷の軽減を考慮しつつ、敷地内の防犯や利便性、室内の快適性に配慮した計画としている。		その他
Q1 室内環境 ・戸境壁は木軸下地二重壁を採用してD r値50を目標値として設定。 ・F☆☆☆☆を床、壁、天井、天井裏の面積の合計70%以上の面積に採用。	Q2 サービス性能 ・住宅性能表示基準劣化対策等級3を取得予定。 ・各住戸に1Gb i tクラスのブロードバンドが利用可能。 ・住居部分の天井高2.5m以上。	Q3 室外環境(敷地内) 建物の配置、形態、植栽を地域環境や街並みとの調和に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー ・住宅性能表示基準断熱等性能等級4を取得予定。 ・潜熱回収型給湯器エコジョーズ、複層ガラスを採用。	LR2 資源・マテリアル 二重壁・二重天井を採用し資源の再利用に配慮している。	LR3 敷地外環境 ディスポーザーシステムを採用。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される